

■ 目標値未達成の要因について

[1]

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の目標値	R2年度の実績値
催事主催者等会議場利用者の満足度の割合を引き上げる （「再利用の意向」に対する回答のうち、「たいへん思う」、「思う」の合計の割合を増やす）	%	98.7	98.3

未達成の要因と分析	<p>コロナ禍において催事件数が少ないなか、アンケート287件の内、2件が「分からない」、3件が「あまり思わない」の回答となった。</p> <p>「分からない」については、そもそも催事自体あるかどうか分からないものや、コロナの影響でこれまで使用していた会場が使用出来ない（大きい会場が必要となった）等の理由であり、「あまり思わない」については、料金が高いことも理由としてあがっている。</p> <p>R2年度においては、催事件数（分母）が少なかったことから、1件の影響が大きく、達成できなかったものとする。</p>
-----------	---

今後の改善方策	<p>引き続き、業務改善提案制度等も活用し、顧客満足度を高められるよう努める。</p>
---------	---

[2]

R2年度の 成果測定指標	単位	R2年度の目標値	R2年度の実績値

未達成の要因と分析	
-----------	--

今後の改善方策	
---------	--